

令和 7 年度 医療的ケア児等支援連絡会 報告書

日常的に医療的ケアを必要とする障害児・者やそのご家族が地域で安心して暮らしていくことを目的とし保健・医療・障害福祉・保育・教育・行政の関係機関が支援課題について 2 か月に 1 回協議した。連絡会は多職種の支援者で構成されており、それぞれの専門分野での経験を活かして課題解決に向けての取り組みを行った。

1. 開催状況

開催日	内容	参加者
5 月 16 日	・事例共有「児童から成人への移行期支援について」 /事例提供者：相談支援事業所「ねくすと」・訪問看護ステーションつな樹	18 名（16 事業所） 実習生 3 名、学校教員 1 名
7 月 18 日	・第 3 回喀痰吸引普及啓発研修打ち合わせ ・事例共有「児童から成人への移行期支援について」/ 事例提供者：福祉の里相談支援センター	17 名（15 事業所） 実習生 1 名
9 月 12 日	・サポートガイドについて ・第 3 回喀痰吸引普及啓発研修打ち合わせ	18 名（16 事業所）
11 月 14 日	・第 3 回喀痰吸引普及啓発研修振り返り ・社会資源の共有	18 名（16 事業所）
1 月 16 日	事例共有「在宅支援の現状と課題～ヘルパーの立場から～」 /事例提供者：WELnet さんだ	18 名（15 事業所）
3 月 13 日	（予定）講義（仮題）「認定特定行為業務について」 講師/兵庫県福祉部ユニバーサル推進課	—

2. 研修

開催日	内容	参加者
11 月 8 日	「第 3 回喀痰吸引普及啓発研修」開催 場所/医療福祉センターさくら 内容/事前講義動画視聴(動画は連絡会構成員で作成) 講義、グループワーク、病棟見学 講師/訪問看護ステーションつな樹 伊藤氏 WELnet さんだ藤枝氏、BeeKind 松田氏 医療福祉センターさくら看護師 4 名	45 名(24 事業所)

【成果と課題】

・市内には医療的ケアを必要とする約 40 名が在宅生活を送っているが、医療的ケア児・者が利用できる事業所や支援者が不足しており必要なサービスを受けられていない状況にある。この課題について連絡会では、医療的ケアの一つである喀痰吸引を実施できる支援者を養成することを目的とし、過去に喀痰吸引等研修修了者を対象に「フォローアップ研修」を 2 回行った。

さらに今年度は対象者を研修修了者に限定せず医療的ケア児等支援に関心のある支援者まで広げ「喀痰吸引普及啓発研修」を開催。現在は医療的ケア児等を受け入れていない事業所からの参加者が多かった。受講者からは「重い障害を持って生活されている方が多いことに気づいた」「ヘルパー

や施設のスタッフが増えるにはどうすればよいのか考えさせられた」等の感想が聞かれ啓発の機会となった。

・医療的ケア児等のご家族から「制度やサービス等に関する情報が届きにくい」「将来どのような支援を受けられるのかが分からない」等の意見が寄せられている。この課題解決のために、昨年度より医療的ケア児等が利用できる制度やサービス、社会資源等の情報をライフステージに沿ってまとめたサポートガイド『くらしのみちしるべ』の作成を開始、今年度完成した。

このサポートガイドは今年度中に三田市障害福祉課のホームページに掲載する予定であり、医療的ケア児等とそのご家族が三田市で暮らしていくために役立つ情報や将来を見据えての準備に活用していただけるよう関係機関の協力を得て周知する。

・今年度の連絡会では事例共有を3回行った。「移行期支援について」においては、児童から成人への移行期に医療や福祉サービス等が円滑に引き継がれるよう事例から得た内容を支援現場で活用できる実践力を養った。

○開催場所：総合福祉保健センター

参加事業所一覧：16

【保健所】宝塚健康福祉事務所

【医療】訪問看護ステーションつな樹、在宅ホスピス イル・ケア

【相談支援事業所】あすなろ相談支援事業所、三田福祉の里相談支援センター
三田わくわく村（大原）、相談支援事業所「ねくすと」、オフィスリブ

【ヘルパー事業所】WELnet さんだ、Bee Kind（神戸市北区）

【医療型障害児入所施設・療養介護】医療福祉センターさくら、兵庫中央病院

【こども療育センター】かるがも園

【教育】市立ひまわり特別支援学校

【こども】子ども政策課

【障害】障害福祉課

【事務局】基幹相談支援センター